

TRAIN グッズ製作について

工学院大学

名取 勝敏 (natori@cc.kogakuin.ac.jp)

平成5年夏に東海大学の渡辺先生によりTRAINのロゴマークが作成された。ロゴマークの活用ということで、TRAIN技術部会ではオリジナルグッズを作りTRAIN関係者で利用することとし、第1弾としてT-シャツを作ることになった。作成の話が持ち上がったのが7月であったこともありT-シャツとなったのだが、製作が遅れたため、購入者に配布できたのが11月以降となってしまう、少々残念な結果になってしまった。T-シャツは46着作成された。

第2弾はT-シャツ配布のすぐ直後に話が持ち上がり、トレーナーを作成することとなる。ちょうど翌年（平成6年）の1月にJAINコンソーシアム主催のシンポジウムが開催され、TRAINが協力することになり、TRAIN関係者はトレーナーを着用してアピールしようという話になった。T-シャツは白地に黒でロゴマークが胸にワンポイントという少し控えめなデザインにしたが、トレーナーは背中に大きくTRAINのロゴマークを入れ目立つデザインにした。前後にプリントをいれ、生地を国産品にしたため値段がかなり高くなってしまったが、50着ほど購入があり、JCシンポジウムでお披露目となった。TRAINのWWWでも写真を公開しTRAINグッズを紹介し始めた。このトレーナーは評判がよく、生地の色は当時東京大学にあったtansei（丹青？）というマシンに関係があったため、東大関係者には好まれた。

第3弾は私の手を離れて、平成9年7月、大塚秀治先生（麗澤大学）によりマグカップが作成された。マグカップはT-シャツやトレーナーに比べ価格が安く、作成数量も多かった（300個）ので、グッズとしては一番適当なものであった。TRAIN関係の会議のたびに紹介・販売されたり、山梨のIX設立時には大量購入され関係者に配られたりと、広く流通することとなった。

TRAINグッズはTRAINの解散と共に幕を閉じた。もうTRAINグッズは作られないと思うと少々寂しい気がする。TRAINグッズを製作することで、技術部会の範囲を超えてたくさんの人と知合うことができた。私はTRAIN関係者として、製作者としてTRAINグッズには愛着があり、トレーナー、マグカップなどは現在でも愛用している。今後、新コミュニティ発展のためにグッズを作成するのモ一案ではないだろうか。

TRAIN
GOODS

